

企業概要

- 「英知と創造力により優れた価値を提供し、人と社会と世界の未来づくりに貢献する」を経営理念とし、1915年の創業以来、無線技術を活用した製品やシステムの提供を通じて顧客の様々なニーズに対応。
- マリンシステム事業では、長年培った船用機器製造への知見と無線通信における高い技術力によって、商船・漁船向けに航海機器/無線機器やブリッジシステムを提供し、特に大型商船向け機器は世界中で運航する多数の船舶で採用されている。



計画の概要

- 安全・安心・効率化の船舶運航に寄与する、付加価値を持つ船上機器の提供や、Smart shipを実現するコンテンツの開発を進め、今後更に必要性が高まる船舶の自律・自動運航に向けた機能やシステムの提供を進める。
- 具体的には、船上システムのマルチファンクションディスプレイ(MFD)※について、AI画像認識、センサフュージョン、危険判断、避航を含むルート生成など、自動運航船の実現に欠かせない他船との衝突自動回避システムの実装を行うとともに、生産性の向上によるコスト削減を図り、普及を目指す。

※レーダ、ECDIS(電子海図情報表示装置)など多様な装置からの情報を、状況に応じて自由に切り替えて表示可能な装置。

<計画実施期間> 2023年7月～2027年12月

<実施場所> 日本無線(株) 長野事業所(長野県長野市)



三井E&Sグループ※の事業基盤強化計画(抜粋)

※(株)三井E&S、(株)三井E&S DU

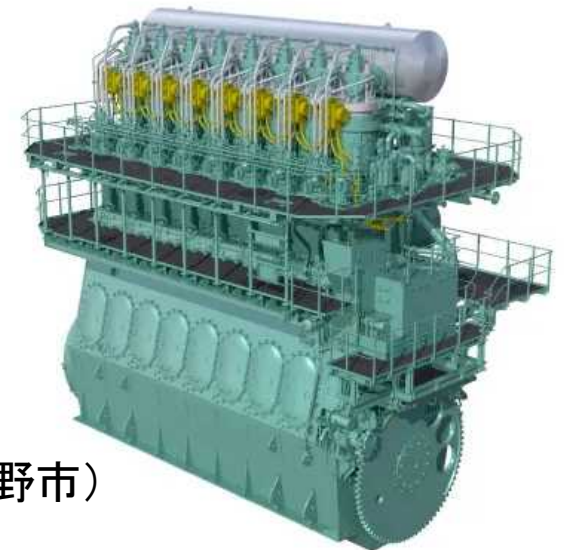
企業概要

- 旧三井物産(株)造船部として1917年に創業。1928年にディーゼル機関1号機を製造して以来、90年以上の長きにわたりエンジン製造に取り組んでおり、2021年3月には製造実績が累計1億1,000万馬力・7,000台を超え、現在の国内シェアは58%で日本でトップを誇る。
- 2023年4月には、(株)IHI原動機より船用大型エンジン事業を承継した(株)三井E&S DUをグループに迎え、MAN Energy Solutions 社(ドイツ)にWinterthur Gas & Diesel社(スイス)を加えたダブルライセンス体制となった。



計画の概要

- 中核製品である船用エンジンの開発体制・生産体制の強化及び製品ラインナップの拡充に取り組む。
- 具体的には、アンモニアと重油、メタノールと重油、メタンスリップ対策を講じたLNGと重油等の二元燃料エンジンを核とした環境対応型エンジンを開発・拡充し、新たなグリーン製品として生産を強化する。
- また、ダブルライセンス体制の構築により製品ラインナップを拡充することで、多様化する顧客ニーズに対応するとともに、両工場におけるリソースの効率的な活用による生産性の向上や、アフターサービスの強化を図る。



<計画実施期間> 2023年6月～2026年3月

<実施場所> (株)三井E&S 船用推進システム事業部 玉野工場(岡山県玉野市)
(株)三井E&S DU(兵庫県相生市)